

(3) 香川県と中国陝西省との友好提携

日本国香川県と中華人民共和國陝西省との 友好県省提携に関する協定書

日本国香川県と中華人民共和國陝西省は、唐に遊学した空海以来、長年にわたる友好往来の基礎の上に、日中共同声明と日中平和友好条約の原則に則り、両県省の友好交流・協力関係を更に強化発展させ、日中両国ならびに両県省民の理解と友情を増進させるため、友好的に協議を行い、友好県省関係を締結することに合意した。

双方は、「平和友好、平等互惠、相互信頼、長期安定」の四原則に基づき、共に両県省民の間の友好往来を促進し、積極的に経済、文化、教育、スポーツなどの各分野における交流と協力を行うことにより、両県省の繁栄と発展に努力する。

本協定書は日本語及び中国語により作成し、各自一通を保有するものとし、両国語の協定書は同等の効力を有する。

本協定書は、署名の日から効力を発する。

1994年4月22日 高松市に於いて

日本国
香川県知事
平井城一

中華人民共和國
陝西省省長
白清才

陝西省の概要

中国の内陸のほぼ中央に位置し、中国の東部、中部および西南、西北地区をつなぐ交通の要衝で歴史的にも重要な舞台となってきた。面積は約20万5千平方kmで中国総面積の約2.1%、日本の約半分、香川県の約110倍であり、人口は約3,956万人で中国総人口の約2.7%、日本の約31.5%、香川県の約41.8倍を擁しています。

中国の主な農業産地の一つであり、林業や牧畜業も盛んで、豊富な鉱物資源を有します。機械工業は省の代表的産業であり、電子工業や紡績工業も先進的な位置を占めています。悠久の歴史に加え豊かな民俗風情と自然景観に恵まれた省都西安市は観光の中心であり、古くは長安の名で知られ、弘法大師・空海が学んだところであり、香川県には馴染みの深いところです。

